

江別市議会

第4回「市民と議会の集い」

〔報告書〕



1. 挨拶
2. 開催概要
3. 意見交換
4. アンケート結果

議会広報広聴委員会

1. 挨拶

本年度開催の第4回「市民と議会の集い」に、市民の皆様に参加いただき、誠にありがとうございます。江別市議会も開かれた議会を目指し、議会改革を初めとしての取り組みを行ってきています。

今年度より、新たに広報広聴委員会を立ち上げ、議会の広報「つたえること」と、広聴「ご意見等を聞くこと」の更なる取り組みの充実を図り、この広報広聴委員会が新たな視点で市民の皆様に伝えること、そしてご意見を聞くことを課題とし、平日の夜と休日の昼に二回企画し開催をさせていただきました。

市民の皆様から多くのご意見をいただきました。今後いただいたご意見を議会としてお応えできるもの、また政策提言できるもの、しっかりと取り組まなければいけないものを仕分け、スピード感を持って、市民の皆様の負託を受けた議会議員として取り組んで参ります。

今後も議会としてのルール、仕組み、取り組みの発信もしっかりとして参る所存であります。これからもご指導・支援をよろしくお願い申し上げます。

江別市議会議長 高間専逸

2. 開催概要

	第1回	第2回
日時	平成29年11月12日（日）14:00～16:00	平成29年11月16日（木）19:00～20:30
会場	江別市民会館	大麻公民館
内容	<ul style="list-style-type: none"> ◎総務文教常任委員会：公共交通について ◎生活福祉常任委員会：子育て政策について ◎経済建設常任委員会：除排雪について ◎市立病院・地域医療検討特別委員会 ◎フリータイム 	<ul style="list-style-type: none"> ◎総務文教常任委員会：公共交通について ◎生活福祉常任委員会：子育て政策について ◎経済建設常任委員会：除排雪について ◎市立病院・地域医療検討特別委員会 ◎フリータイム
参加者数	28名	21名
参加議員	<ul style="list-style-type: none"> ◎議長：高間専逸 ◎副議長：宮川正子 ◎議会広報広聴委員会：星克明／堀直人／内山祥弘／齋藤一／徳田哲 	
	<ul style="list-style-type: none"> ◎総務文教常任委員会 ：島田泰美／徳田哲／岡村繁美／齋藤一／角田一 ◎生活福祉常任委員会 ：齊藤佐知子／星克明／諏訪部容子／堀直人 三角芳明 ◎経済建設常任委員会 ：石田武史／高橋典子／尾田善靖／宮川正子 山本由美子 ◎市立病院・地域医療検討特別委員会 ：清水直幸／赤坂伸一／岡村繁美／齊藤佐知子 宮本忠明／吉本和子 	<ul style="list-style-type: none"> ◎総務文教常任委員会 ：島田泰美／徳田哲／相馬芳佳／干場芳子 本間憲一／宮本忠明 ◎生活福祉常任委員会 ：齊藤佐知子／星克明／裏君子／清水直幸 鈴木真由美／吉本和子 ◎経済建設常任委員会 ：石田武史／高橋典子／赤坂伸一／内山祥弘 野村尚志 ◎市立病院・地域医療検討特別委員会 ：清水直幸／赤坂伸一／内山祥弘／島田泰美 相馬芳佳／本間憲一

3. 意見交換

◎公共交通について（総務文教常任委員会）

<11月12日／江別市民会館>

Q	これから高齢化が進む中で、細やかなバス路線網が必要ではないか。そのために、小型のバスを導入することについての考えは。
A	現在、地域公共交通活性化協議会で様々な検討を重ねています。マイクロバスのようなものについては議論されていないが、デマンド交通（電話予約など利用者のニーズに応じて柔軟な運行を行う公共交通の一形態）については検討されているところです。
Q	札幌市などでも運行されている、低料金で定額のバスを導入してほしい。
A	利用者数との兼ね合いがあるので、導入については慎重な検討が必要と考えるが、要望として担当部署にお伝えします。
Q	高齢者による事故を少なくしていくためには、免許証返納が有効と考える。その促進策としてのバス網の整備、高齢者に対するバスの割引制度導入について。
A	高齢者の免許証返納については、様々なご意見があります。今回の件についても、要望として担当部署にお伝えします。
Q	目前のことではなく、江別の未来を担う若者のために、10年先、20年先の事を考えた公共交通の検討をお願いしたい。
A	公共交通に限らず、まちづくり全般にそうした考え方を持つ必要があると認識しており、貴重なご意見として承ります。
Q	平成27年に運行された野幌見晴台線は、なぜ無くなったのか。
A	ご質問のバス運行は、バス交通再編の検討に向けた調査として行われたものであり、期間を決めた実証運行です。その後、運行状況やアンケートの結果に基づき、地域公共交通活性化協議会で全体的な路線のありかたについて検討しております。なお、アンケートや収支を含めた運行状況などの結果については、既に公開されております。

Q	野幌見晴台線の実証運行についてもそうだが、広報の役割は非常に重要であると考えるので、しっかり取り組んで欲しい。
A	ご意見として承ります。

<11月16日／大麻公民館>

Q	江別市による、バス事業者への補助の状況について。
A	現在、市内完結の3路線について補助を行なっており、事業者について対象となっているのは、1社となっております。
Q	市が、バス事業者に補助を行うのであれば、市民が喜ぶ形にして欲しい。
A	市民の皆さんのが喜ぶ形となるよう、我々も努力したいと考えております。

Q	江別2番通線（大麻駅と大麻西町との間）と、兵村1番通のバス路線廃止について。
A	両路線とも赤字額が大きくなり、残念ながら廃止に至っております。

Q	大麻扇町のバス停の復活を要望する。この件について事業者に意見を述べても、丁寧な対応をされない。また、市に意見を述べても、事業者が厳しいと言っているので仕方がないという対応をされる。事業者寄りの説明には、納得できないものがある。
A	バス停の復活や意見への対応について、今後の検討課題として担当部署にお伝えします。

Q	地域公共交通活性化協議会では、大麻西町のバス路線空白地域への運行は厳しいとされている。そのような状況下で、地域住民の生活の足をどのように考えるのか。
A	地域公共交通活性化協議会では、公共交通に対する市民アンケートを実施するなど、広く皆さんの意見集約に努めています。他市の先進事例の検討も含めて、今後の議論経過を見守って参ります。

Q	バスの初乗り運賃が高すぎて利用できない。市民の経済状況をもっと理解して欲しい。
A	ご意見として承ります。

Q 市民生活を守るため、市としては路線が廃止されたらすぐに他の手段を講ずるべきではないか。

A 財政措置を含めて、慎重な議論が必要であり、ご意見として承ります。

Q 路線廃止となる前に、例えば無料券を配布するなどしての実証実験を積極的に行うべきではないか。

A 実証実験のあり方を含め、ご意見として承ります。

Q 他市では、大型ショッピングセンターが無料バスを運行している。また、江別市内でも入浴施設などの民間事業者が送迎バスを運行しているが、こうした民間との連携も考えていくべきではないか。

A 将来に向けてあらゆる可能性を探る必要があり、貴重なご意見として承ります。

◎自由記述（総務文教常任委員会）

Q	審議会のあり方について。
A	審議会は、江別市市民参加条例に定義されている「附属機関」にあたり、市民や専門的な知識を有する者の意見を行政の運営に反映することや、市民の意見を市政に反映させることを主な目的として設置されています。現在、様々な所管に審議会が設置されており、会議は基本的に傍聴が可能であり、会議資料については情報公開コーナーで閲覧することができます。
Q	江別小学校の跡地利用について。
A	平成26年11月から平成28年3月にかけて、江別駅周辺地区土地利用検討委員会で様々な検討がなされ、報告書が提出されました。その内容を踏まえて土地活用の検討をしており、サウンディング型市場調査（活用意向・アイデアのある民間事業者との対話をを行う事で市場性等を把握し、幅広い検討を可能とするための方式）を行うべく、平成29年10月11日から実施要領等を公表し、参加事業者を募集しているところです。今後は、サウンディング型市場調査の結果を参考に、活用方法を決定する予定となっております。
Q	子どもに対する、睡眠時間や生活全般に関する教育はなされているのか。
A	道徳教育で実施しており、実態調査なども行われています。
Q	通学のパトロール隊に関して。登下校の際、交差点のパトロール隊の状況。
A	市内小学校18校の中で、様々な主体による見守り隊活動が6校、PTAによる見守り活動が2校で行われています。その他、市内では自発的な団体による活動や、個人的なボランティア等による見守り活動が行われている状況です。
Q	広報の配布について。自治会に入っていない人には配布しないのか。そうであれば、自治会未加入者には、市が責任をもって配布すべきでは。
A	江別市は、これまで自治会連絡協議会にご協力いただきて広報の配布を行っており、平成28年度における配布率は82.9%となっております。自治会未加入者への対応としては、市内コンビニ・スーパー・マーケット・駅・郵便局・各公共施設などに広報を置いてもらっているが、引き続き多くの市民に広報が行き渡るよう努力していく必要があると考えます。

Q	災害時、ドローンを積極的に活用すべきでは。また、事前防災対策としてのドローン活用についてはどのような状況か。
A	総務省の調査では、平成29年11月現在で全国76の消防本部にドローンが導入されており、北海道では江別市とその他1か所で導入されています。江別市消防本部には民間事業者から寄贈をうけたドローンが1機あり、訓練を経て平成29年8月から運用可能となったところであるため、来春に向けて、どのような活用ができるか庁内で検討中です。今後も積極的な活用がなされるよう、要望としてお伝えします。

Q	江別市内には4つの大学があり、札幌にも近く安全で好立地だと思う。しかし、全道・全国に対する広報や宣伝が少ないように思える。現在も行っている活動を進め、更に新たな取り組みを願っている。
A	江別市としてもシティプロモートを進めているが、まだまだ足りない部分や工夫が必要なところがあり、これまで議会としても、委員会や各議員の一般質問で取り上げてきたところです。今後も引き続き、広報・宣伝の充実に向けて取り組みを進めて参ります。

Q	大麻の沢町側、江別あけぼの地域住民の買い物等への交通について。
A	どちらに買い物等へ向かうのかによって利便性が変わると考えるが、現状では大麻沢町とあけぼの町近辺にはいくつかのバス停があり、平日は通常1時間に1本、多い時で1時間に2本ほどのバスが走っている状況にあります。

Q	公共交通について、全ての方にベストとなる方法は難しいと思う。より良い方法を目指していくために、市民として協力できることがあれば呼び掛けて下さい。
A	心強いご意見をいただき、感謝しています。議会としても市民の皆さんのお力添えをいただきながら、今後の公共交通についてより良い方法を探って参ります。

◎子育て政策について（生活福祉常任委員会）

<11月12日／江別市民会館>

Q	江別市における健常者の教育環境は充実していると思うが、障がいのある子どもたちに手厚く医療、看護、カウンセリングなどのサポートをしてはいかがか。
A	小中学校全校に特別支援学級を整備し、それぞれの子供に必要なサポートを行っています。幼稚園、保育園においても受け入れ体制を整えています。

Q	江別市の保育園の待機児童数は。
A	年度当初においては、ほぼゼロの状況であるが、秋以降は若干の待機児童があります。現在、保育数枠の拡大を図っているが、待機児童の具体数は正確には把握できていないことが課題であります。

Q	江別市の保育料金の状況はいかがか。
A	保育料金は、保護者の所得に応じております。詳しくはホームページをご覧いただくな、担当部署（子ども育成課：011-381-1030）にお問い合わせください。

Q	見晴台地区において、子ども110番の家に実際に子どもが避難してきた事例はないが、子育てには大いに役立っている。110番の家が、地域で子どもを育てる環境が構築されている。子育ての場所において、現状は室内の作られた場所で既製品の遊具などが主であるが、屋外の自然の中で遊ぶことも大切では。
A	貴重なご意見として承ります。

Q	子育て広場「ぽこあぽこ」の意味は。
A	ゆっくり歩くように進んで行くという意味の音楽用語です。

Q	子ども食堂に対する江別市の支援体制は。
A	江別市としては実施していないが、民間における支援はあるようです。

Q	学童保育の状況は。
A	全小学校区に学童保育の体制を整備し、6年生まで受け入れています。

Q	弁当の日において、コンビニで購入する子どもなどもいる現実があり、実態を深く理解して対応する必要がある。
A	貴重なご意見として承ります。

<11月16日／大麻公民館>

Q	新栄会館で活動している子育てグループなど、様々な子育てグループが活動しているが、市議会でも支援をしていただきたい。
A	貴重なご意見として承ります。

Q	公園でのラジオ体操に、子どもたちが集まっている。室内の遊び場もあるが、たくさんある屋外の公園を、より子どもたちが遊びやすい施設にしてほしい。
A	市内にある230の公園を活用し、さらなる環境の整備に努めるよう働きかけたいと思います。

Q	公共施設などで、おむつ交換などを行う場所は、女性用のトイレ内が主であるが、男性の子育てへの参画を促すのであれば、配慮が必要では。
A	貴重なご意見として承ります。

Q	自然の中での子育て、自然を有効に活用した子育てを考えていきたい。
A	貴重なご意見として承ります。

◎自由記述（生活福祉常任委員会）

Q	子どもの日本脳炎予防接種は、道外では既に0円と聞く。市としての取り組みは。将来を担う子どもの育成を願う。
A	平成28年4月1日から、定期接種となりました。料金は無料ですが、年齢等に対象制限があります。詳しくはホームページをご覧いただくな、担当部署（保健センター：011-385-5252）にお問い合わせください。
Q	学童の人数が、減っていると聞いたことがあります。学童の人数が減っても、続けていけるのでしょうか。学童がなくなると困る人も出てくると思いますが、見通しはどうでしょうか。
A	放課後児童クラブの利用については、特に低学年の利用者が増加している現状です。市では定期的に「えべつ・安心子育てプラン」の計画値を見直すなど、利用ニーズに対応している状況です。
Q	国民健康保険の都道府県化が実施されることですが、江別市の対応について聞かせてください。
A	「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律」の成立により、平成30年度から従来の市町村単位から都道府県単位となり、北海道が江別市とともに、国民健康保険の運営を担うことになります。北海道は、国民健康保険税の標準的な算定方式等に基づいて、江別市の標準保険料率を算定・公表し、市が国民健康保険税を決定して被保険者から徴収することになります。江別市では平成28年度の国民健康保険税が一人当たり年間94,493円でしたが、2パーセント程度の増額になる見込みです。
Q	年金の削減に伴う、江別市の収入源の状況・影響は。
A	現在の年金支給額は物価に連動した方式となっており、その増減により税収や消費行動の変化が生じることが予想されますが、具体的な影響については不明です。
Q	家で出る草や枝の無料回収を、せめて月一回行っては。
A	江別市では、家庭から出る草については「燃やせるごみ」に分類、枝については、長さや太さに応じて「燃やせるごみ」と「燃やせないごみ」に分類されます。自治会などで行う地域清掃などでは、公共ごみ袋を使用しています。現在のところ、公平性や受益者負担の考え方から、各家庭から排出されるごみについては、その他のごみ同様に有料とせざるを得ないと考えております。

Q	なぜ、ごみの収集が戸別とならないのか。
A	現在のステーション方式は、住宅10戸に1か所程度の割合で設置されています。戸別収集方式の場合には、収集時間が増加することで、収集車や人員の増加が必要となることが予想され、費用負担が増加します。現在、高齢者などで、ごみ出しが困難な方への対応について検討されています。市議会においても、一般質問などで取り上げてきたところです。

Q	街路樹には花が植えてあるのに、ごみ箱が置いてあるのは美観を損ねるし、街路樹にごみ箱を置くことはいかがか。
A	道路交通法上は、歩道上にごみボックスなど固定される収集箱を設置することは出来ないが、道路管理者との協議により安全性等を考慮して、可動式、固定式の収集箱を設置しています。設置場所については、地域住民の協議により設置場所を市へ報告するかたちとなっています。

Q	高齢者がごみを捨てるために道路を横断しているが、事故が発生しないと改善にならないのか。
A	ごみの集積所については、地域住民が協議の上で決定しているため、高齢者がごみ出しなどで危険を伴う恐れがある場合には、安全性を確保するため、地域住民で協議し変更することが可能です。

Q	ごみ収集の業者に、払う賃金はいくらか？
A	平成28年度の「ごみ収集運搬業務委託」は、379,826,000円でした。

Q	まちづくりに向けて協働の活動は大変重要であるが、行政、市民参加の活動の状況の「見える化」のための「行動化」をいかに工夫するか、その実態を問う。
A	行政、市民参加の状況についての情報は、市のホームページや広報誌等でお知らせを行っています。市議会においても、より市民の皆さんに情報を伝え、参加していただける方法について検討してまいります。

Q	高齢者の交通事故対策のため、運転免許証の返納者にタクシーチケットなどを配布しては。
A	高齢者の交通事故防止対策として、運転免許証の返納については、市は警察と協力して推進しているが、現在のところ代替措置についてはありません。市議会では一般質問などで、代替措置や公共交通機関をより利用しやすくするための提言をしております。

Q 野幌駅前の信号機が他の信号機と連動しているので、急ぎの時に使用できない。警察には連絡しても、結果報告が来ていない。

A 信号機については、公安委員会の管轄となります。自治会等からの要望事項については、市が窓口となり対応を行っております。

◎除排雪について（経済建設常任委員会）

<11月12日／江別市民会館>

Q	交差点の四つ角に雪の山ができる。自治体の中には、手押し式の除雪機を購入して、燃料代も負担している。その交差点の近くに住む住民に、除雪機の保管と降雪時の除雪をお願いしているところもあるそうです。保管時の管理責任の問題についても柔軟に対応すれば、江別市においても同様の施策を実施できるのではないかと思うがどうか。まずは、実験的に数か所から始めてみることはできないか。また、手押し式信号機のボタンが冬季間には雪の下になっている場所がある。江別市内には相当同様の箇所があると思われるが、具体的には6丁目通りで2か所ある。できるだけ信号を押すボタンの近くまで除雪してくれているが、最終的にはスコップを使って手で掘らなければ雪の下に埋まてしまっている。子どもたちはボタンを押すように指導されているから、雪の山をよじ登っていって押している実態があるので改善できないか。
A	四つ角の雪山の除雪や手押し式信号機のボタンが雪によりふさがれている件については、委員会としても課題として取り組んでいきたい。手押し式除雪機の貸し出しについては、予算の関係もあるため、先行事例を研究したい。

Q	江別駅から旧江別小学校の前を通って国道12号線まで続く歩道があるが、以前に車道と歩道の間の雪山が高くなり人の背丈ぐらいになっていたことがあったが、その歩道を通行した際、ほかからの見通しが悪く何か事故があった場合に対応してくれないのでないかと恐怖を感じた。雪を少なくとも、50センチくらいの高さにとどめるようにすべきではないか。
A	雪の多い時期には大麻駅に通じる歩道でも同様の問題があり、子どもや女子高校生などが隠れて見えないという住民の意見もありますので、我々も議員として取り組んでいきたい。

Q	除雪の出動判断を、夜10時か11時くらいに決めると思う。その時点で10センチに満たないと出動しないわけだが、雪というのは大体午前3時から7時くらいにかけて再度降る。その時点ではもう出動の判断をしないことになるので、トータルとして10センチ以上の積雪になることがある。そういうことが3、4日続くと生活道路上は、自動車による圧雪がわだちを形成したり、暖気になると雪が融けてざくざくになり非常に通行しづらくなる。そういう苦情を受けることが多いが、そのような状態を細かく判断しながら10センチ降らなくても、3日も4日も前から積もった雪が20センチも25センチもあるときには出動していただけるよう要望してほしい。
A	市民の意見として、市に伝えます。なお、市では連日の降雪により通行に支障のある道路に関しては、現地調査をしたうえで判断し対応したいとのことです。

Q	札幌市では年間の除雪予算が200億円と言われているが、江別市の場合は年間予算が幾らであり、市の全体の年間予算のどのくらいを占めているのか。
A	江別市では除雪に関する予算は、平成29年度で約11億2800万円程度であり、年間の予算を約470億円とすると約2.4パーセントになります。

<11月16日／大麻公民館>

Q 1	江別市の除排雪はどこにも競争力が働いていない。環境整備事業協同組合に全くお任せで、そこにしか発注していない。そのために全く競争力が働いていない。特に、除雪センターを設けているが、こちらからの苦情だとかの対応については機械的な対応しかしない。本当に一事業体だけに発注して良いのかということと、競争力が働いてサービスの向上が図られなければならないと思うが今の体制を是としているのかどうか。また、除雪センターの応対についてどこまで承知しているのか。市の方では雪対策課を作っているが、市も雪対策課も結果としては除雪センターにお任せであり、環境整備事業協同組合の言い分を聞いてるだけである。議会の方ではどのくらいまで認識して今回のレポートを出されているのか。幸いにしてここ2年は雪が少なめで重大問題はないが、サービスとしてなっていないということをここまで認識されているかお答えいただきたい。
A 1	一つは単一の事業体だけに発注しているというようなご意見であるが、市としては協同企業体ということで市内の事業者さんがそういう組織体を作つて行つてるので、単一の事業体というふうなとらえ方でいいのかということについては即答をしかねることですが、もう一方のサービスに関して市民の苦情が議会にどの程度届いているのかということに関しては、恐らく、私を含めてそれぞれの議員が毎年何らかの形で市民からの苦情を受けていると思います。それを除雪センターと確認をとりながらお答えをしているのではないかと思うし、今後ともそのようなことがあれば、恐らくどの議員もそのように対応していくと思います。
Q 2	一事業体に出すことによってきめ細かいサービスの低下がはっきりしてることを認識しているのかということである。つまり、一事業体に出すことが良いか悪いかということよりも、そのことによってサービスが低下してると。そして、一事業体にしか出してないから「おれたちがやってるのが何で悪いんだ」というような対応になっている。その部分についてどう認識されているのか。
A 2	毎年の除排雪事業者の選定に当たっては正式に公募をかけているので、それに一つしか応募がないということ。また、オペレーターの確保などの問題があり、江別市全体の除排雪を維持管理していくためには現在の方法がベストであると考えるが、サービスが悪いという部分に関しては、それぞれの議員として今お話しを伺つたので何らかの形でこれから議会活動を通して解消に向けて努力していきたいと思っている。

Q 3	議員が苦情を受けて、受けた後にこの業者にどのような指導をしているのか。その指導した結果が良くなっているのか悪くなっているのか。また、午前零時過ぎてから苦情の電話をかけても電話がつながらないが、そういう場合に苦情を直接決まった場所に申し入れたらそのあと良くなるのか。責任者を決めてその人に言えば間違いなく業者に反映される方法はないか。
A 3	先ほどの苦情の件に関してはそれぞれの議員が対応していることなので、当職としては何とも申し上げられない。なお、議員が直接業者に言っているのかそれともセンターを通して業者の方に事実確認をしたうえで何らかの対応をとっているのかということについても、それぞれの議員によって異なると思う。
Q 4	各議員に届けられた苦情やその結果について、委員長として聞き取りはしていないのか。
A 4	当職は聞いていない。
Q 5	放りっぱなしでは無責任ではないか
A 5	無責任ということではないと思う。
Q 6	今まで各議員に寄せられた意見を取りまとめ等はしていないのか。これだけ苦情があって、業者に言って解決したとか全然解決しないので違う業者にするとか、そういうことはできないのか。
A 6	例えば、議員全員がどういう苦情を受け付けていて、それぞれどういう解決方法をとったかということを一か所で管理しているところはないと思う。ただ、市の方では、毎年の市民からの苦情や問い合わせにどういうものがあったかということは、業者や日時も含めて把握しており、それらの苦情や問い合わせを今後に活かすべくオペレーターの技術研修などの際にも役立てているとのことである。また、業者指導をすべきものはしているとのことである。
Q 7	除雪は環境整備事業協同組合が受けているが、その代表者に責任あると思う。その代表者に言って変える以外ないと思う。この組合には市内のほとんどの業者が加盟しているので競争にはならない。私の知る限りでは、それぞれの業者が地域を割り振って担当しているので、いろいろな苦情を解決するすれば、協同組合のトップが市の責任者と協議をして問題を解決していくことだと思う。その際には、議員ももう少し働きかけてほしいと思う。
A 7	要望として承ります。

◎自由記述（経済建設常任委員会）

Q	市が建設した建物や公園、遊歩道等を朝、昼夜、深夜などに歩いて状況を確認したことはあるか。
A	当職は、全部の施設等をすべての時間帯に歩いて確認したことではなく、問題点を市民から指摘されたときには、現状を確認しています。それぞれの議員においてどのように活動されているかまでは承知していませんが、恐らく各議員においても当職と同様になされていると思います。
Q	四季の道のホタルゾーン（夏のゾーン）について、照明が明るくないので、暗い時間帯に歩くのに適さない。もっと明るくしてほしいし、付近のごみなども適切に処分してほしい。四季の道を安心して、体力向上に活用できる施設を整備してほしい。
A	四季の道は、基本的には歩きながら付近の風景を見て楽しむことを目的としているので、夜間のことまでは考えていないようであり、ご指摘のとおり、ホタルの生育のために光の広がらない照明を使用しているようである。なお、体力向上ということであれば、付近には飛鳥山公園などもあるので、そちらを利用してはどうでしょうか。
Q	緑町中央自治会ですが、第一小学校の児童が町の方から地下歩道を通っていますが、地下歩道の出入り口にフードを付けたほうが良いかと思う。毎年、冬の段差が30センチついている。
A	ご指摘のあった地下歩道については、第一小学校の生徒は、通学路として通行しないように学校側から指導されているようあります。
Q	江別の顔づくりの今後の進捗状況と展望について。
A	顔づくりについては、平成29年12月17日、野幌地区において江別市建設部による顔づくり事業の市民説明会がありましたが、現在は予定どおりに工事等が進められておりまして、来年度には野幌駅南口にできる広場やバス停、交通路の変更が予定されています。また、野幌駅南側では民間による宅地造成が行われており、今後も転入が期待できるところです。
Q	若者が働く場（IT産業など）の確保について。
A	若者が働く場については、IT産業に限らず企業の誘致を市としても行っているところですが、現状は食品関連産業の誘致にシフトしつつあるようです。市内にある四大学との連携は必要であるとの認識から、大学生に対する有給インターンシップ事業を行っています。

Q	水道料金について、市からの請求金額についてウェブサイトの一覧表とは一致しないようだが、どのようにになっているのか。
A	江別市の水道・下水道料金については独自の計算方法を採用しており、メータ検針のない月は見込み水量で請求し、メータ検針月に2か月分を各月均等に使用したものとみなして計算しているとのことです。従って、一般的な計算方法と異なり安く算出され請求されているとのことです。

Q	雪対策連絡協議会の設置を（単位自治会は、除排雪三者懇談会の出席者となっていない）。
A	市は除雪に対する考え方として、従前に比べて範囲をせばめて状況を把握するように努力しているところであり、除排雪三者懇談会の回数も増やして実施し、より細かい地域の実情把握に努めるとともに、除排雪事業に対する市民の理解を広めていこうと考えています。しかし、どんな個人や団体でも参加できるような会の設置は、意見の収拾がつかなくなる恐れが大きいとも考えます。地域で支える仕組みづくりについては、今後とも考えていきたいと思います。

Q	空き家の土地や公園を除排雪に活用できないか。
A	民間地の利用については、個人の所有地であり雪解け時の近隣への流水や雪に混ざったごみの処理など、市が主導するとなると問題点が多いと考えます。また、公園には遊具等もあることから大型機械等では損壊する恐れも大きいため現状では考えづらいが、今後とも活用について研究していきたいと思います。

Q	大麻の四番通りと道道米里線付近に大型店舗が出店したが、同店舗と四番通りが接する区間は歩道もなく道路が狭いため通行時に危険を感じるので歩道の設置を希望する。
A	ご指摘の地域は、現在、北海道の道路改築事業により工事中で、計画では将来はインター線が延長されて四番通りとの接続地点も新たに設置される模様です。なお、同計画によれば、ご指摘の地点に片側歩道が設置される予定となっています。

◎市立病院・地域医療について（市立病院・地域医療検討特別委員会）

Q	市立病院は、待ち時間が長いのでみんな札幌へ行ってしまうと思う。毎年の赤字をこれからどのように解決していくのか。
A	今、市民のみなさんが疑問に思っている「なぜ」を解決するために、委員会で調査を続けております。現状の把握に努めているところあります。

Q	研修医は今、何人いるのか。また、退職していく先生が多いのは何故か。病院の経営は、どのようになれば黒字になるのか。
A	現在、市立病院では、正規の医師が36名。非常勤が8名、そのうち研修医が4名です。昨年は、正規の医師が40名、非常勤15名で、総数55名の医師がおりましたが、様々な理由で今的人数になっています。

Q	国のDPC制度の変更や入院に関わる仕組みが変わるなど診療単価が下がり、収益がなかなか上がらない状況になっている。これからの高齢化社会での、慢性疾患に対応できるような病院作りに努力していると思う。また、市立病院を利用するためには地域的な問題もあり、そのようなことも含めて、委員会で問題課題をチェックしていくのが役割だと思う。
A	入院患者数において、ベッドの稼働率が低いのは何故か。市立病院から離れている住民を如何にして病院に来てもらう努力をするのが、特別委員会の役割ではないか。そのようなことを思っています。

Q	病院問題を大変心配している。説明では見守って行くと言う表現でしたが、いつまでに何をしようかと言うところは疑問だ。
A	6月から新しいメンバーで、特別委員会が開催されております。北海道としても新しいビジョンを、市立病院としても改革プランを示しており、その途中であることから、精査しているところでありますので、ご理解ください。特別委員会は、いつまでにどのような結論を出すのかを含めて委員会審議を進めています。一番大きいのは平成30年に予定されている国の医療改革がありますので、その動きが明確になれば方向も見えてくるのかと思います。

Q	全国に多くの市立病院があると思うが、黒字を出しているところはあるのか。また、目標としている病院・地域医療はあるのか。
A	道内に21の市立病院がありますが、そのうち18の病院が赤字です。全国の状況については正確な資料はありませんが、40%を超える病院が黒字、60%が赤字と聞いています。

Q	市民として、私たちとすればどのような形で貢献できるのか。
A	体調が悪い時には極力、公共の交通機関で市立病院を利用していくことが一番です。病診連携が重要で、かかりつけの市立病院と専門病院を使い分けて利用していただくのが良いと思います。

◎自由記述（議会運営委員会）

Q	自治基本条例で市、市民の責務とともに議会の責務も定められており、別に議会基本条例を定めています。この中で議会は自治基本条例をきちんと意識しているか、議会として考え方を伺いたい。
A	自治基本条例に関しては、個々議員が日常的に常に念頭に置いて活動しています。また四年ごとの見直し時期には、委員会で議論されています。
Q	議会議員の定数削減についての質問。定数削減による弱者救済に関する予算確保について。
A	議員定数については、現在、陳情が議会運営委員会に付託され、審査中です。仮に議員定数が削減されても、財源の関係から議会費の削減額がそのまま他の事業に振り向けられません。また、議会には予算の執行権がないため、使途を指定できません。
Q	まちづくりに向けての協働の活動は大変重要であるが、議会、市民参加の活動状況の「見える化」のための「行動化」をいかに工夫するか。その実態を問う。
A	市民参加のひとつとして、平成26年から「市民と議会の集い」を開催しています。毎年、開催方法を工夫して、より良い集いとなるよう努力しています。その他、議会だよりなど以外にも、本会議のインターネット中継やホームページ、Facebookなど、速報性あるメディアを利用して、議会の情報を伝えています。

◎自由記述（議会広報広聴委員会）

Q	市民と議会の集いを、インターネット中継することはできないか。議会のインターネット中継の視聴率を上げたい。また、若い人たちの参加をどのように増やすかについて、どのように考えているのか。
A	インターネット中継についてですが、江別市議会では、本会議のインターネット中継を行っているところです。市民と議会の集いについてのインターネット中継は、参加者のプライバシーの問題など、慎重に進めなければならない点もありますが、インターネット中継は、若い人たちの関心を高めるために有効な方法と考えております。今後も引き続き、インターネット中継の活用について、状況等に応じて検討して参ります。また、若い人たちの参加をどのように増やすかについてですが、今回は日中に仕事や授業がある方々のライフスタイルに合わせて、平日夜という時間設定の日を設けました。今後も若い人たちに参加してもらえるよう、取り組みを進めて参りたいと考えております。
Q	多くの議員と話ができる機会は貴重で、良い試み。市民と議会の距離を近づけるためにも、複数回にしたのは素晴らしい。その上で、市の状況をふまえて、共にこれからについてざっくばらんにお話できる場ができないか。それがあると、次の議会が楽しみになるのでは。若い世代が参加しても、有意義に感じられる場にしたい。
A	議会の最高規範である「江別市議会基本条例」では、第2条、議会の活動原則の第2項で「市民等の多様な意見や知見等を的確に把握するよう努め、政策調査、政策提案及び政策提言の充実を図り、市政に反映させるための議会運営に努めること」とし、第5条、市民参加及び市民との連携の第4項で「議会は、議員と市民が市政全般にわたり、情報及び意見を交換する場を多様に設けるとともに、政策提案の拡大に努めるものとする」とし、第6条、議会広報の充実で「議会は、議会及び市政に対する市民の関心を高めるため、多様な議会広報活動に努めなければならない」としています。その主旨に基づき、江別市議会では、市民の多様な意見を把握するとともに、議会及び市政への関心を抱いてもらえるような場づくりに努めているところであります。また、参加比率の低い若い世代の市民の方々にも、どのように取り組めば有意義に感じてもらえるか、研究と工夫を行っていきたいと思います。

Q 栗山町議会では、議会が開催される時期に、議員が町民に対し、現在の栗山町の問題などを取り上げる説明会を開き、町民と意見交換しているとのことだ。江別市の「市民と議会の集い」も、年に1回ではなく多くの場所で、議員が手分けをして、現在の議題や問題点などを説明する体制をつくるべき。情報提供することが、すべての出発点だと考えるがいかがか。

A 「江別市議会基本条例」では、第5条、市民参加及び市民との連携の第1項で「議会は、市民に対し、積極的にその有している情報を公開し、説明責任を十分に果たさなければならない」としており、市民への情報提供は責務であると考えております。4年目となる今回の「市民と議会の集い」から、複数回複数会場の実施を導入いたしました。今後も、さらなる情報提供の推進の手法等について検討して参りたいと考えております。

Q 今回のように、複数の会場で開催していただけるのは、とてもよい機会だと思う。一部の人々が、行政の不満をぶつける場ではなく、どうしたら市民の意見を、特にネガティブではない、建設的な意見を集められる場になるのかということについて、工夫していただけることを期待する。

A ご意見をいただいたとおり、市民の問題解決や地域の課題解決につながる建設的な意見を集められるよう、意見聴取の方法等について、今後とも工夫して参ります。

4. アンケート結果

性別

	人数	%
男性	27	69.2
女性	9	23.1
無回答	3	7.7
合計	39	100.0

年代

	人数	%
10代	1	2.6
20代	0	0.0
30代	2	5.1
40代	2	5.1
50代	4	10.3
60代	10	25.6
70代	10	25.6
80代以上	9	23.1
無回答	1	2.6
合計	39	100.0

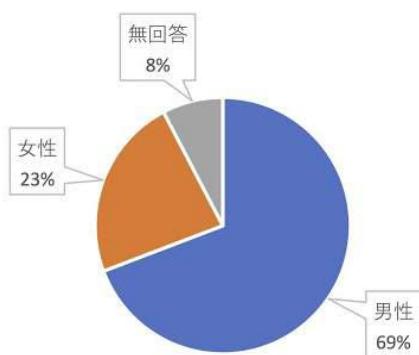
居住地域

	人数	%
江別地域	10	25.6
野幌地域	12	30.8
大麻地域	14	35.9
豊幌地域	2	5.1
その他	0	0.0
無回答	1	2.6
合計	39	100.0

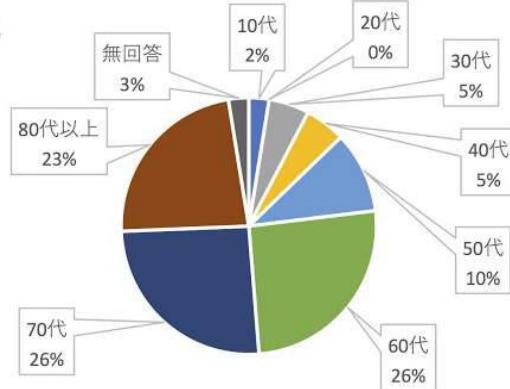
参加回数について

	人数	%
初めて	22	56.4
2回目	6	15.4
3回目	6	15.4
それ以上	2	5.1
無回答	3	7.7
合計	39	100.0

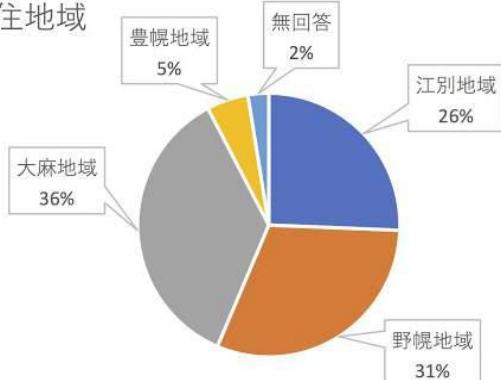
性別



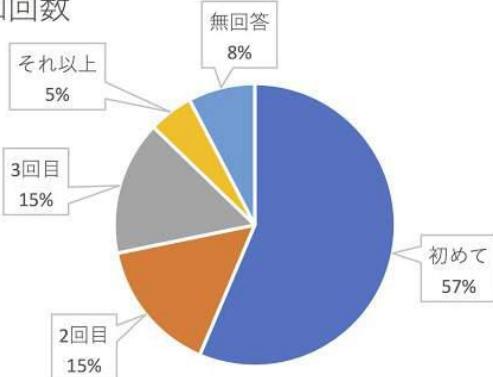
年代



居住地域



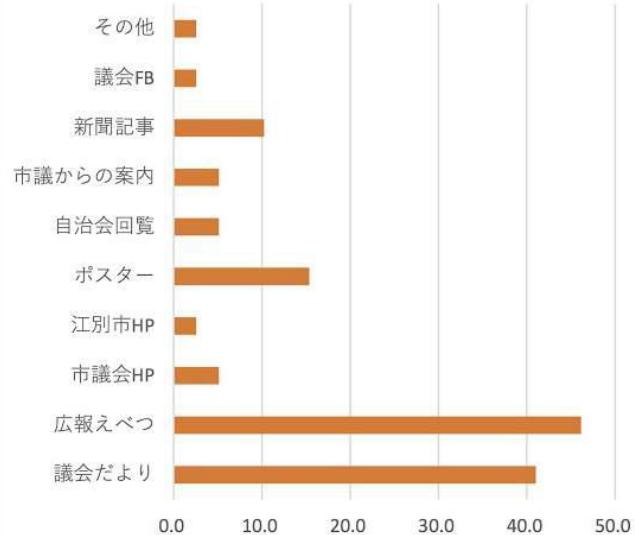
参加回数



情報源について (複数回答)

	人数	%
議会だより	16	41.0
広報えべつ	18	46.2
市議会HP	2	5.1
江別市HP	1	2.6
ポスター	6	15.4
自治会回覧	2	5.1
市議からの案内	2	5.1
新聞記事	4	10.3
議会FB	1	2.6
その他	1	2.6

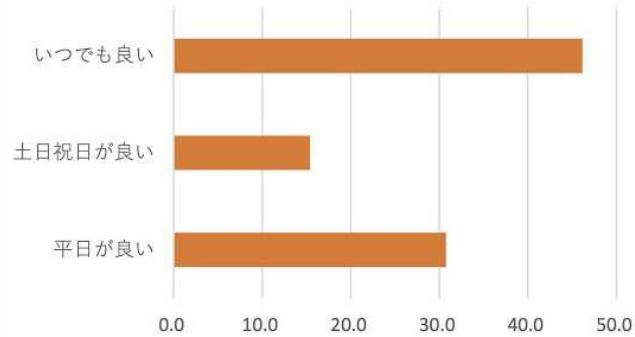
情報源について (%)



開催曜日について (一部複数回答)

	人数	%
平日が良い	12	30.8
土日祝日が良い	6	15.4
いつでも良い	18	46.2

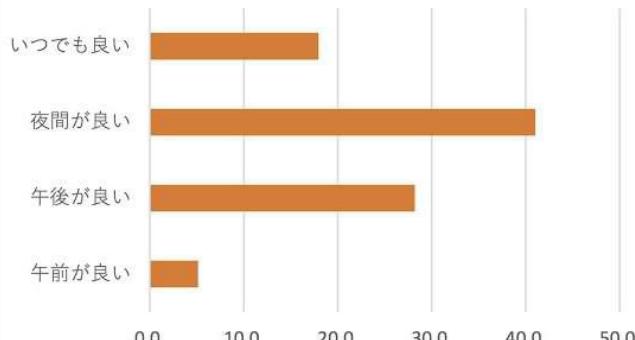
開催曜日について (%)



開催時間について (一部複数回答)

	人数	%
午前が良い	2	5.1
午後が良い	11	28.2
夜間が良い	16	41.0
いつでも良い	7	17.9

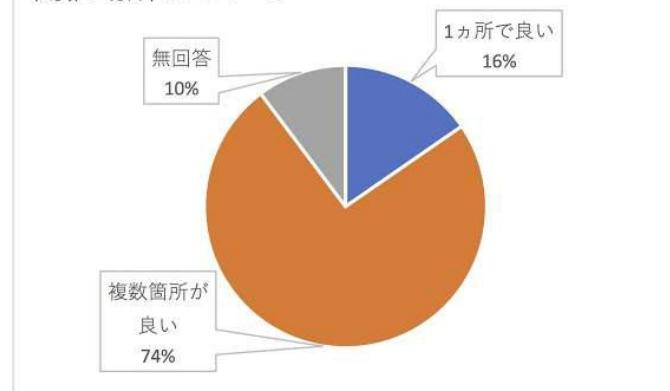
開催時間について (%)



開催場所について

	人数	%
1ヵ所で良い	6	15.4
複数箇所が良い	29	74.4
無回答	4	10.3
合計	39	100.0

開催場所について



※複数箇所の考え方について (複数箇所が良いと回答した方のみ自由記述)

江別・野幌・大麻の3ヵ所で開催 (6名の方から同様のご意見)

行きやすくなる

市民会館の他、各地区の公民館・コミセン等で開催してはどうか

市民と議員の情報交換はもっと多いほうが良い

近いので参加できた

たくさんの意見が聞けるのでお互いにとって良い

自宅から近いので出向くのが安全

今回の様に2か所で良い

移動手段を考えると参加したいと思っても考えてしまう方もいるはず

そう考えれば最低3か所必要では

どちらでも良い

江別地区・野幌地区で良い

参加者が増えることが望ましいと思う

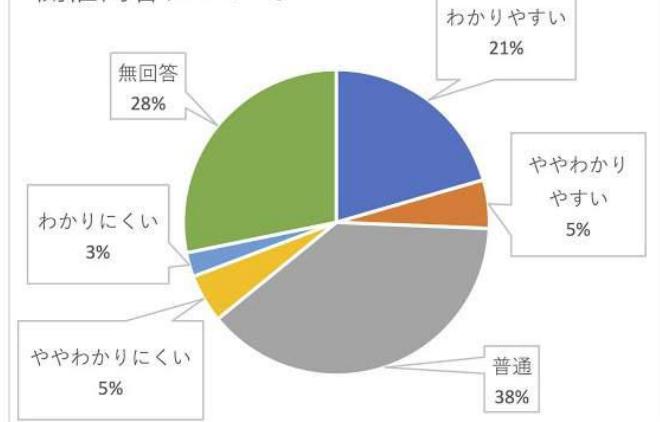
江別・大麻の2ヵ所

市民会館と大麻公民館で良い

開催内容について

	人数	%
わかりやすい	8	20.5
ややわかりやすい	2	5.1
普通	15	38.5
ややわかりにくい	2	5.1
わかりにくい	1	2.6
無回答	11	28.2
合計	39	100.0

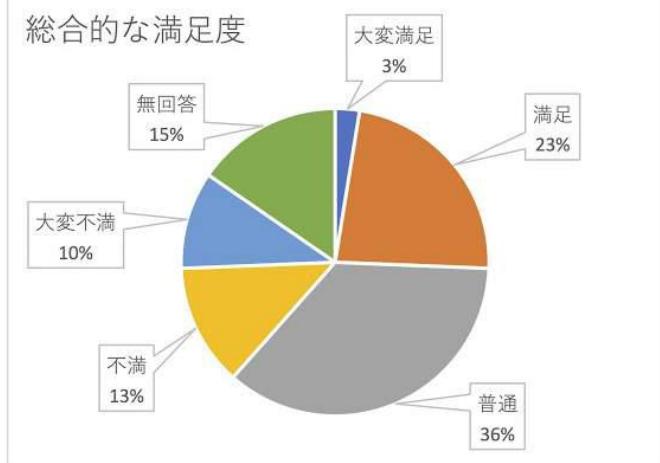
開催内容について



総合的な満足度

	人数	%
大変満足	1	2.6
満足	9	23.1
普通	14	35.9
不満	5	12.8
大変不満	4	10.3
無回答	6	15.4
合計	39	100.0

総合的な満足度



性別	年代	住まい	自由記述（原文のまま記載しております）
男	60代	大麻	いつもご苦労様です。開かれた議会の一環として広報活動・市民との集い等々、良い活動だと思っています。これからも市民のために油断することなく職務に尽力願います。とにかく「市民第一」ですね。
男	40代	大麻	シニア層が多い（参加者）。もっと若い人が出席できるようにしてほしい。若者向けのテーマや若い議員がメインにお話しいただきたいと思います。
女	60代	江別	書くためのバインダーを備えて欲しい。不安定で書きにくかったです。きっと参加者が増えてゆくことが、江別をより良くしてゆくのだと思いました。ずっと続けて欲しいものです。 普段から疑問に思っていたことが確認出来て有意義な2時間でした。ありがとうございます。
男	60代	野幌	委員会の方で質問者に「資料を見せれば良いのですが～！」とか、後ち程お答えします等の専門家（議員）の切り替えしは聞きづらい。参加者にもう少し分かりやすく説明してほしい。
女	70代	江別	議員削減問題が集団で参加したのにはおどろきました。本題がぼけた集いとなりました。残念。
男	70代	野幌	集いの進め方をもう少し研究して下さい。
男	50代	野幌	終了時間はほぼ質問がなくなるまで柔軟にとっておく。用のある方は自由に帰ってもらってよいとして。
男	80代	野幌	質問の内容を以前に事務局に提出するにしてはどうでしょうか。
男	60代	野幌	「説明してやれ」と言う事は正しい言葉使いですか。 一般席で座っている人、人格が問われますね。何か変ですね。議員の方ですか。
男	60代	江別	活発な意見交換であった。（議会のしくみを理解してない市民に説明するのは大変ですね。）
女	50代	豊幌	委員会も中継して欲しい。
男	30代	江別	一部のお年寄りの批判的な発言に大きく時間がとられてしまうので、せっかくの機会がもったいないと感じました。（質問は一人一回制にする方法もあると思います） 我々責任世代はどう具体的に問題を解決するかに大きな視点があります。建設的な意見を集めるために、ワークショップ形式で議員さんが入り主体的に意見をまとめ上げる方式などを使えば、よりよいものになると考えます。また、もっと若い人が参加できる工夫が必要と考えます。本日は、ありがとうございました！

性別	年代	住まい	自由記述（原文のまま記載しております）
男	80代	野幌	<ul style="list-style-type: none"> ・議員は名札をつける。 ・バスは小型のバスも良い。80才以上は本人のみの割引カードなど？（3枚とか5枚の）初のり100円とか？ ・お店前の雪は道路に出すな。（車代を出しなさい、お店が。）特に十字路の排雪。 ・現場の話し、紙一枚で出来る。○○科はこちらと紙を通路で見える角に出す。お金は紙一枚のことです。行くたびに言葉でつたえてもダメですね。老人のためにたのみますよ。（2Fでも角をまがったら、どこかわからない老人ですよ）案内の人々は親切ですけどね。
男	70代	大麻	もっと、多くの方（若い方）が参加出来るように工夫して欲しい。
男	70代	野幌	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全体として時間が足りない。 2. 意見を聞き置くというような感触。
男	60代	大麻	時間が短かいと思います。まだ意見のある方がいたのではないかと思います。参加している市民の方は行政について関心がある方が多かったと思います。
女	60代	江別	いろいろ勉強になり、参加してよかったです。
女	60代	大麻	<p>市ギ会がきちんと市民の声を反映させていればこの様な会は必要ないのだと思います。</p> <p>病院（市立、私立問わず）は、市民の体調不良をもうけの動員にしないで安心して（みたてが良い）かかる病院に。</p>
男	80代	大麻	現在市が直面している問題について、どのような議論が行われているかの情報提供が大切だと思っています。その問題について市民に説明し意見を聞くことが第一歩だと思います。
-	-	大麻	続けてほしいと思います。
-	-	-	<ol style="list-style-type: none"> 1. 江別未来づくり学生コンベンションを生かす。 2. 協働のまちづくり活動支援事業等生かす。
男	30代	野幌	<p>おもしろかったです。個の意見が多く問題解決への道筋が見えなかったです。どのように意見が市に上程されていくのかを見てみたい。</p> <p>教育・経済の意見交換会があったら参加したいです。お疲れ様でした。</p>
女	50代	大麻	質問で10分話した人がいたが、途中で切って良いと思う。
男	10代	大麻	組織と組織の壁がまだ厚くて、高いと感じた。連携をもっととれるような組織作りが大切だと思う。
男	70代	大麻	<p>○市立病院：市立から個人開業で内科医の減少で患者が減少している。原因を分せきすべき。</p> <p>○研修で医者を育てて患者を定着させる。</p>